



政府統計

報道関係者 各位

平成 29 年 8 月 30 日

**【照会先】**

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 後藤 敬一郎

室長補佐 川津 雄志 (内線 7473)

室長補佐 田部 美樹 (内線 7494)

(担当) 出生児縦断統計企画係

平成 13 年 出生児 (内線 7474)

平成 22 年 出生児 (内線 7566)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2413

## 第15回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）及び 第6回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の結果

厚生労働省では、このたび、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」の第15回（平成28年）及び「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の第6回（平成27年）の結果を取りまとめましたので、公表します。

21世紀出生児縦断調査は、平成13年生まれ及び平成22年生まれの調査対象児について、生活実態や経年変化の状況を継続的に観察するとともに、平成13年出生児と平成22年出生児の比較対照等を行うことにより、少子化対策などの施策のための基礎資料を得ることを目的としています。

調査時点での子どもの年齢は、平成13年出生児の第15回調査が15歳（中学3年生）、平成22年出生児の第6回調査が5歳6か月です。

### 【調査結果のポイント】

#### <第15回調査（平成13年出生児）>

##### 1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は第1回調査（出産半年後）の24.9%から年々増加し、第15回調査（中学3年生）では80.8% (5頁 図1)

##### 2 子ども自身が考える将来（結婚・最初の子どもを持つ時期）について

###### (1) 結婚

第13回調査で「具体的にはまだ考えていない」と回答した子どものうち、男児の約3割、女児の約4割が第15回調査では20歳代で結婚したいと回答 (8頁 表3)

###### (2) 最初の子どもをもつ時期

第13回調査で「具体的にはまだ考えていない」と回答した子どものうち、男児の約2割、女児の約3割が第15回調査では20歳代で子どもを持ちたいと回答 (9頁 表4)

##### 3 子どもが思う悩みや不安

男児、女児とも「進路に関すること」と答えた割合が最も増加 (10頁 図3)

第13回調査（中学1年生） (男児) 9.4% (女児) 14.5%

第15回調査（中学3年生） (男児) 27.9% (女児) 44.5%

#### <第6回調査（平成22年出生児）>

##### 1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は第6回調査（5歳6か月）で62.2%となり、平成13年調査（第6回）の51.4%に比べて10.8ポイント高い (11頁 図1)

##### 2 子どもの遊び場所

子どもが「友だちの家」で「遊ぶ」（「よく遊ぶ」と「ときどき遊ぶ」の合計）割合は54.8%で、平成13年調査（第6回）の67.5%に比べて12.7ポイント低い (13頁 図3)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。